Metalart Group

# 株式会社
# メタルアート

第92期　定時株主総会
2023年6月27日

証券コード: 5644

# 目次

第92期　定時株主総会


会議の目的事項 …… 3
監査報告 …… 4
事業報告 …… 5
2023年度業績予想について …… 9
2030年ビジョン …… 12
　～4年目の取組みについて～
企業価値向上にむけた課題と取組み …… 37
第92期（2023年3月期）連結計算書類 …… 48
議案の説明 …… 51
質疑応答 …… 57
議案決議 …… 58

# 会議の目的事項

報告事項

1．第92期 事業報告、連結計算書類、会計監査人及び監査役会の連結計算書類の監査結果報告の件

2．第92期 計算書類の内容報告の件

決議事項

＜会社提案＞

第1号議案　剰余金処分の件

第2号議案　取締役５名選任の件

第3号議案　監査役１名選任の件

第4号議案　補欠監査役１名選任の件

＜株主提案＞

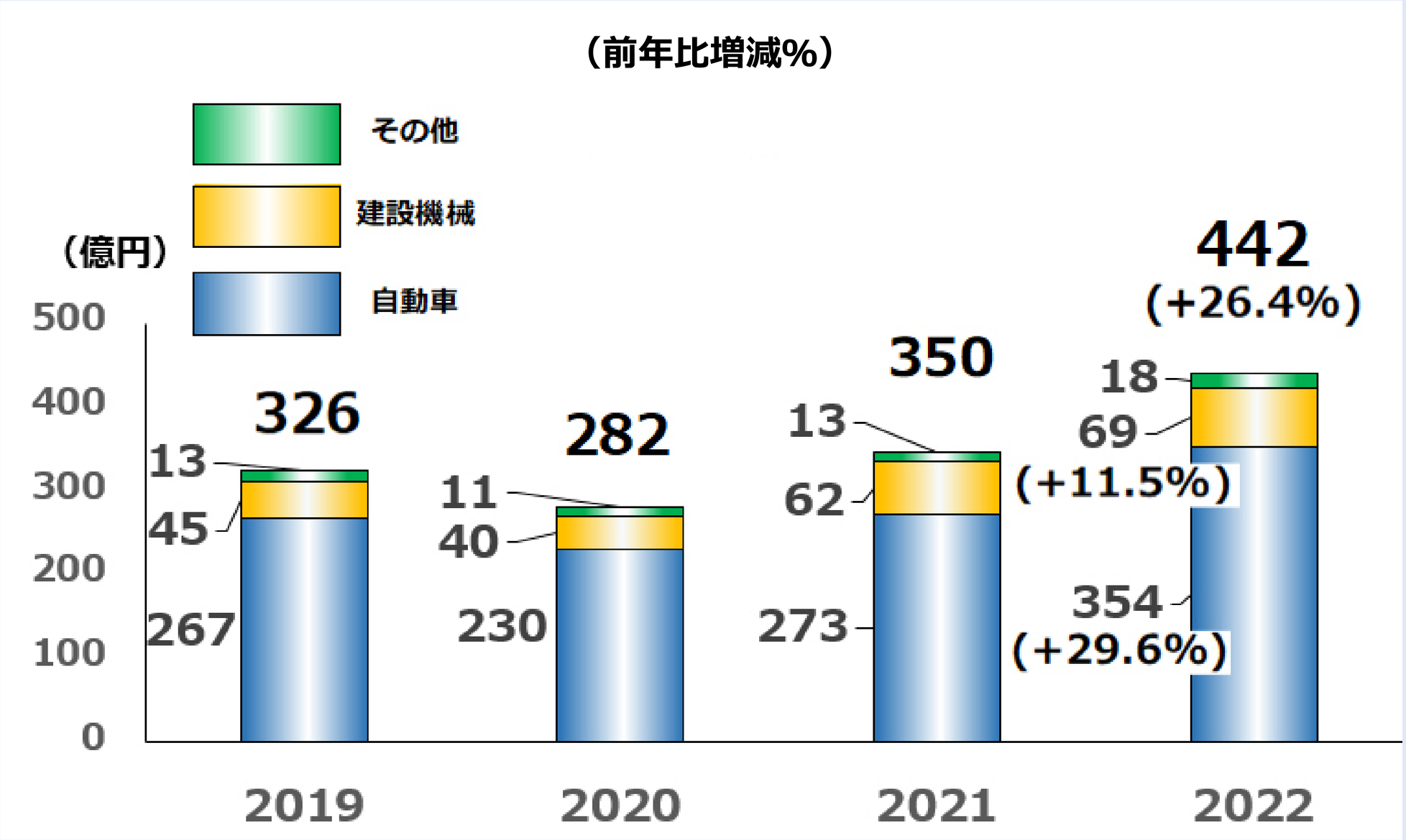
第5号議案　剰余金処分の件

# 監査報告

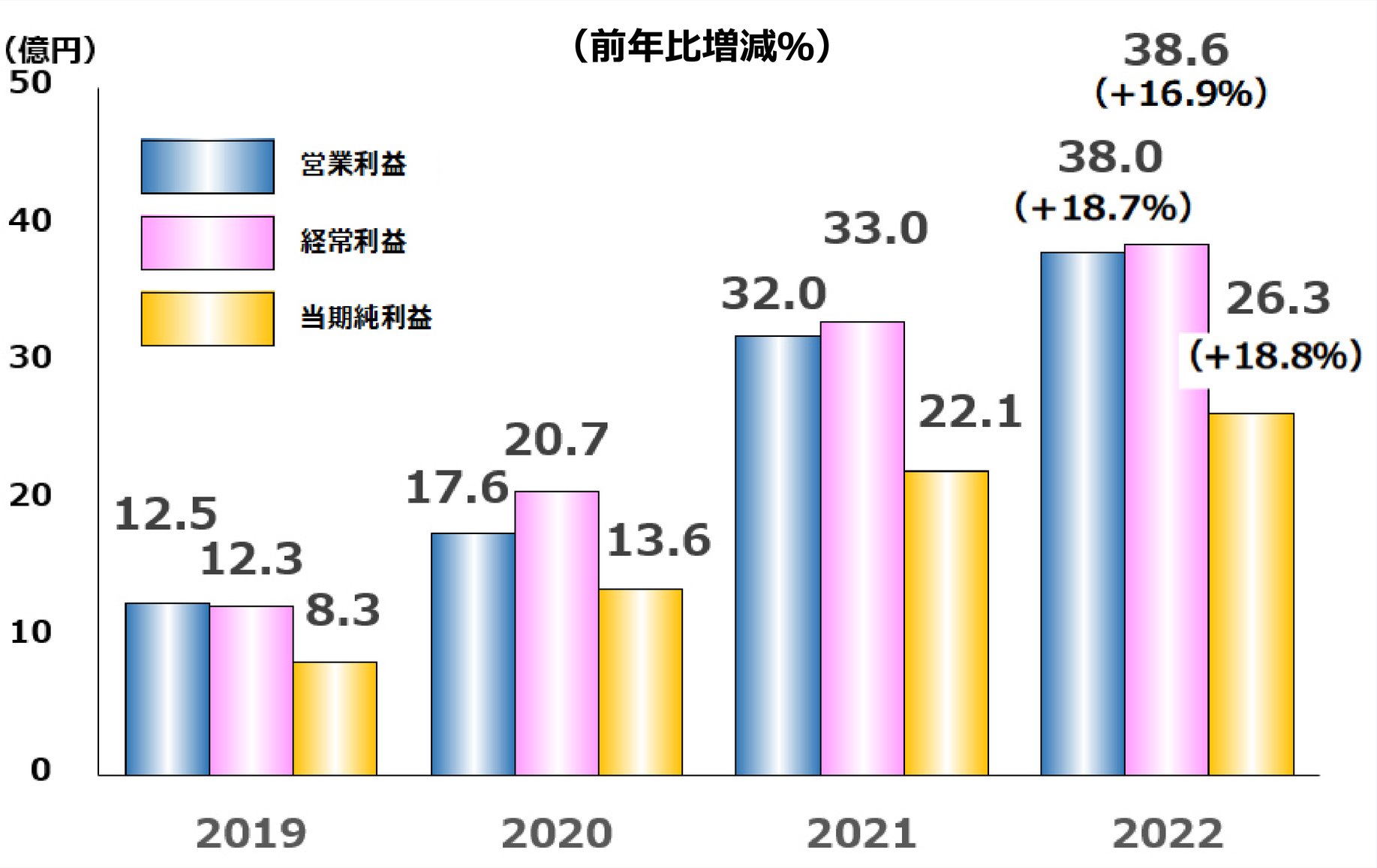
# 事業報告

代表取締役　友岡 正明

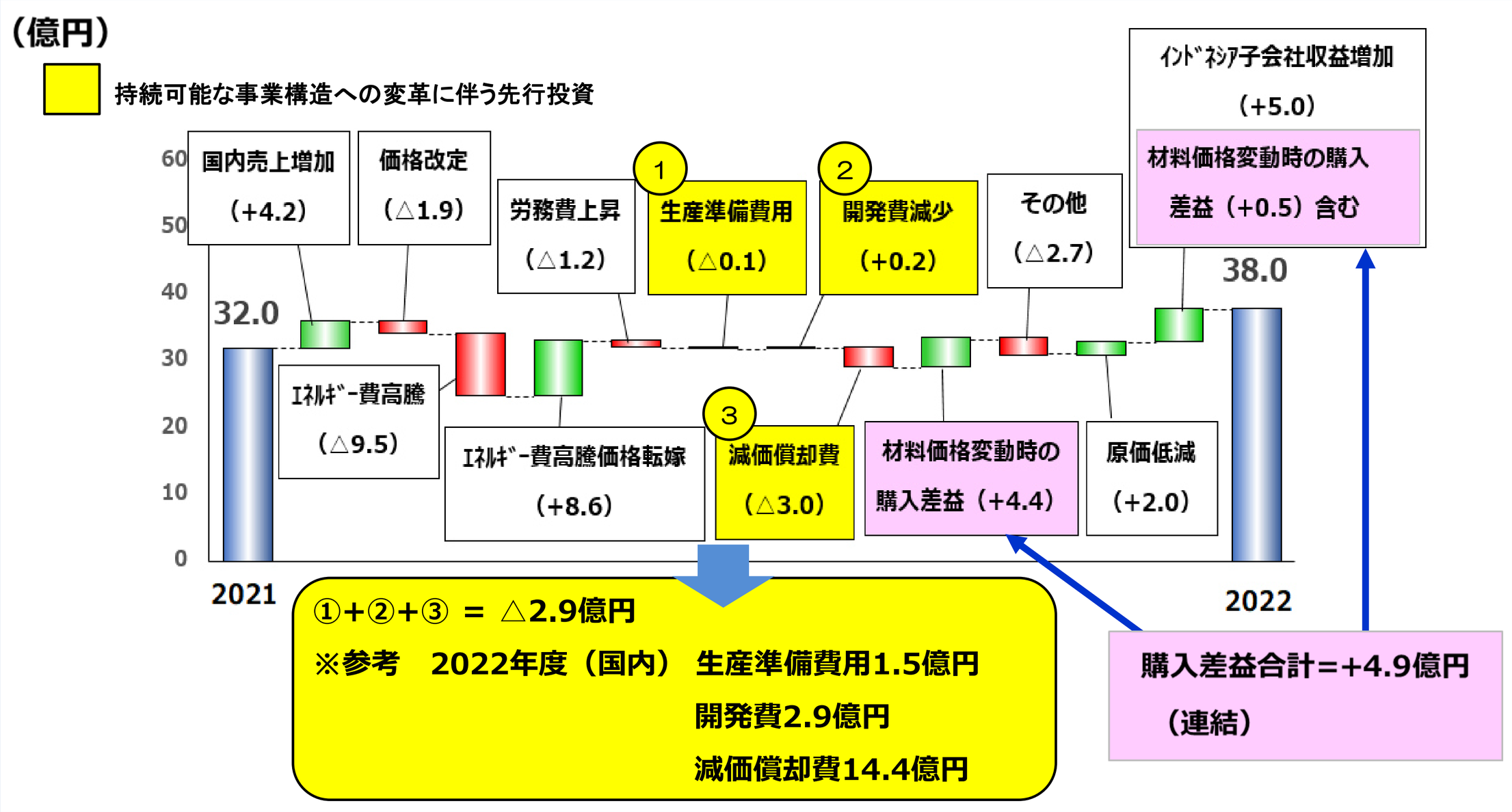
# 当社グループの現況（売上高）



# 当社グループの現況（利益）

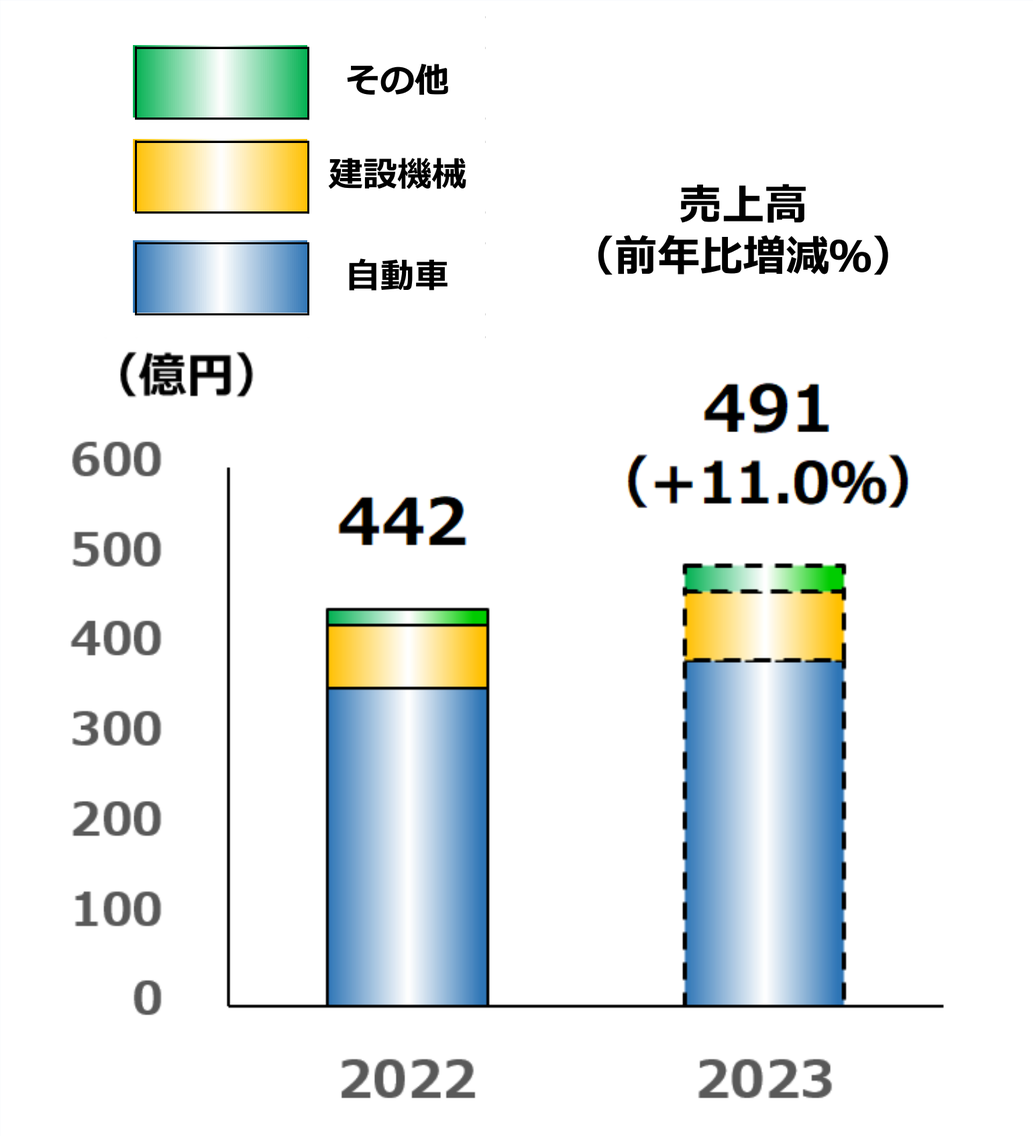


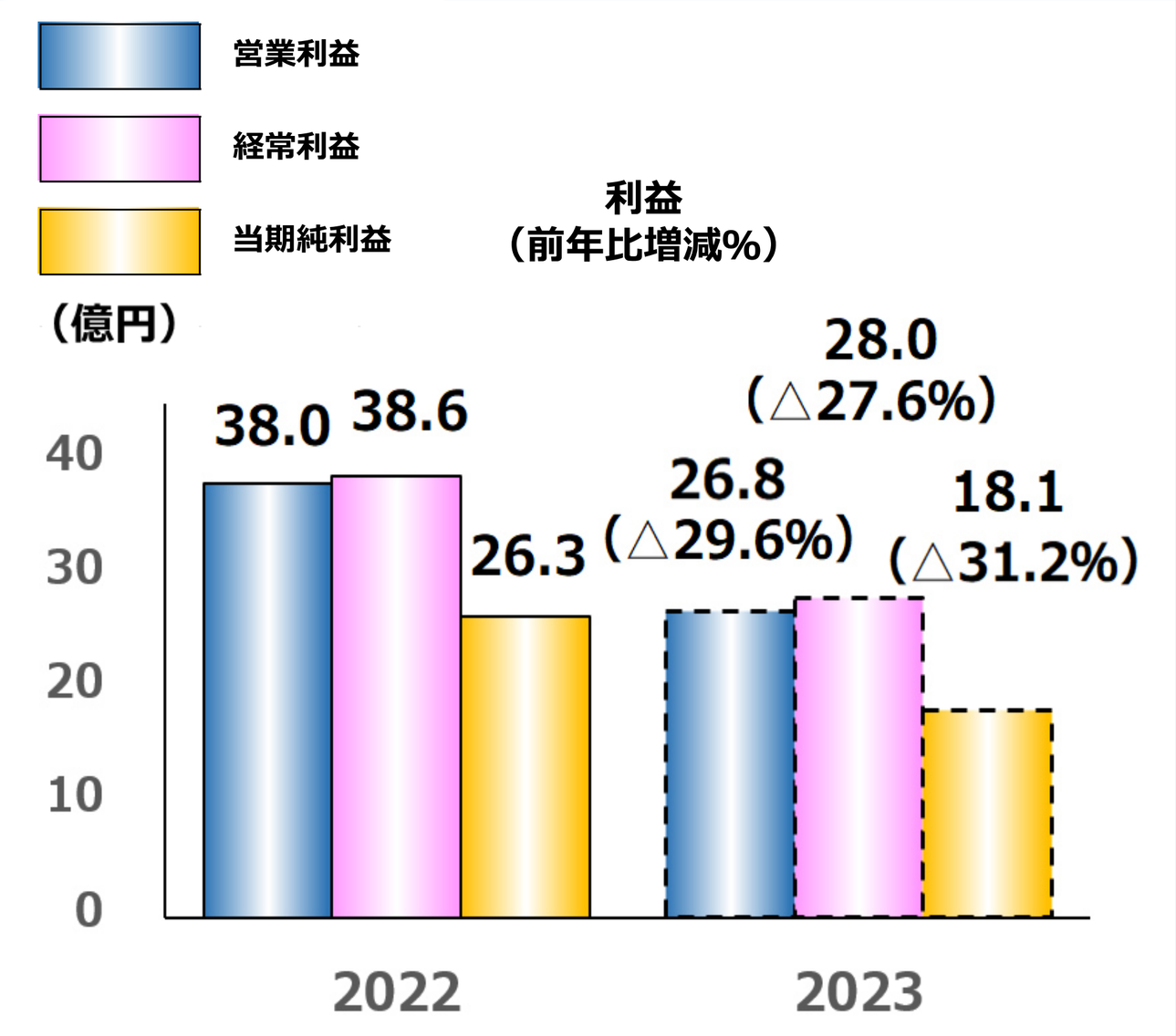
# 連結営業利益変動要因


（億円）
持続可能な事業構造への変革に伴う先行投資
60
50
40
30
20
10
0
32.0
38.0
2021
2022
国内売上増加
（+4.2）
価格改定
（△1.9）
労務費上昇
（△1.2）
1
生産準備費用
（△0.1）
2
開発費減少
（+0.2）
その他
（△2.7）
ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ子会社収益増加
（+5.0）
材料価格変動時の購入
差益（+0.5）含む
ｴﾈﾙｷﾞｰ費高騰
（△9.5）
ｴﾈﾙｷﾞｰ費高騰価格転嫁
（+8.6）
3
減価償却費
（△3.0）
材料価格変動時の
購入差益（+4.4）
原価低減
（+2.0）
①+②+③ ＝ △2.9億円
※参考　2022年度（国内）　生産準備費用1.5億円
開発費2.9億円
減価償却費14.4億円
購入差益合計＝+4.9億円
（連結）

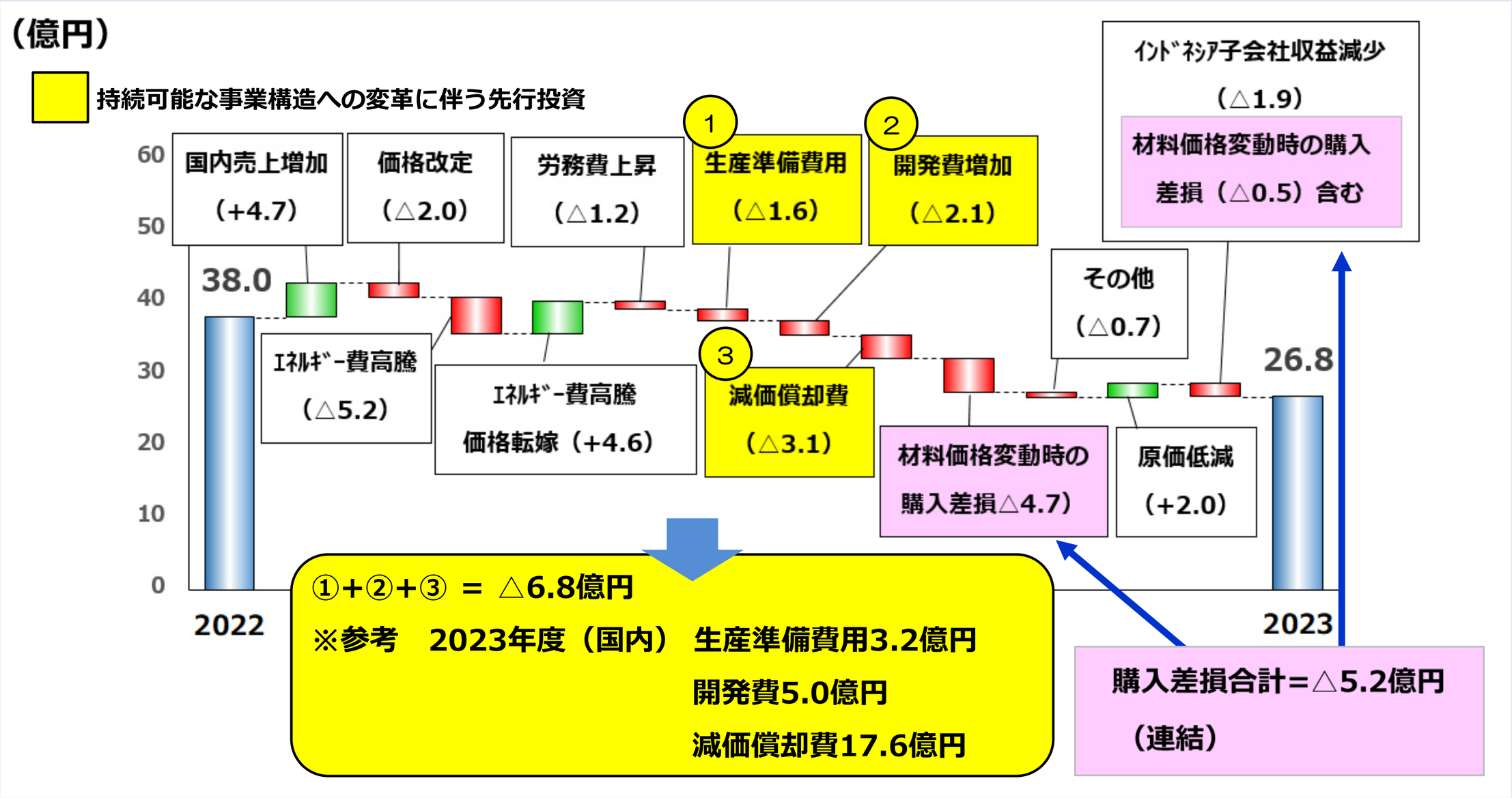
# 2023年度業績予想について

# 連結売上高及び利益見通し



# 連結営業利益変動要因


（億円）
持続可能な事業構造への変革に伴う先行投資
60
50
40
30
20
10
0
38.0
国内売上増加
（+4.7）
価格改定
（△2.0）
労務費上昇
（△1.2）
①
生産準備費用
（△1.6）
②
開発費増加
（△2.1）
ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ子会社収益減少
（△1.9）
材料価格変動時の購入
差損（△0.5）含む
その他
（△0.7）
ｴﾈﾙｷﾞｰ費高騰
（△5.2）
ｴﾈﾙｷﾞｰ費高騰
価格転嫁（+4.6）
③
減価償却費
（△3.1）
材料価格変動時の
購入差損△4.7）
原価低減
（+2.0）
26.8
2022
2023
①+②+③ ＝ △6.8億円
※参考　2023年度（国内）　生産準備費用3.2億円
開発費5.0億円
減価償却費17.6億円
購入差損合計=△5.2億円
（連結）

# 2030年ビジョン
# ～４年目の取組みについて～

1| 外部環境予測

2| 事業面の課題と取組み

# 1｜外部環境予測

# 外部環境予測

## カーボンニュートラル実現にむけた動きが加速

・世界的なカーボンニュートラルに向けた取り組みが加速

⇒当社主力の自動車市場の電動化が加速

特に中国、欧州、米国が顕著

・国内の超少子超高齢化がコロナ禍で更に加速

⇒市場の縮小、生産年齢人口の減少が加速

持続的成長に向けての最重要課題を再認識

①事業の持続的な構造への変革

②人材確保/定着化

⇒環境変化に合わせて2030年ﾋﾞｼﾞｮﾝの取組みを加速

# 2｜ 持続的成長に向けた課題と取組み

## 「原点回帰と変革」

# 原点回帰



## 01

### メタルアートウェイの浸透

## 02

### 国内既存事業の収益構造改革

## 03

### 海外事業のさらなる収益拡大

## 04

### BCPの推進

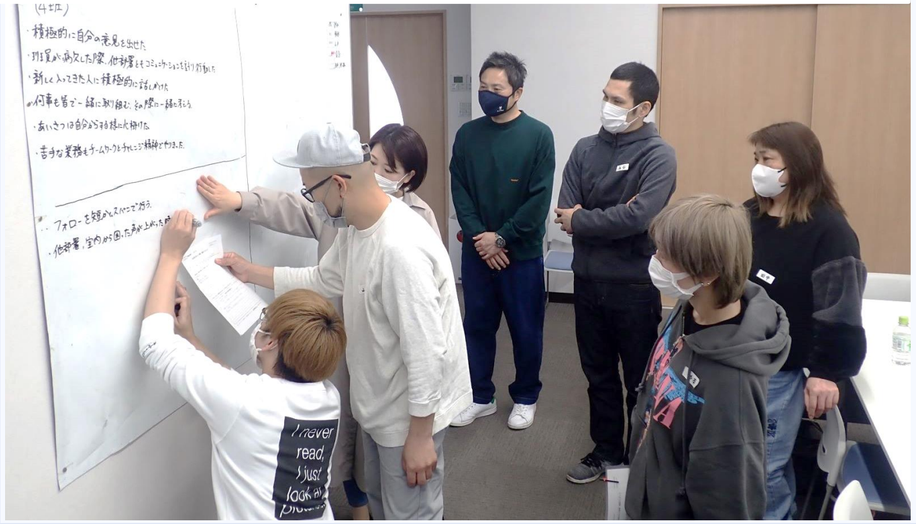
## 05

### コトづくりの推進

# 原点回帰



01



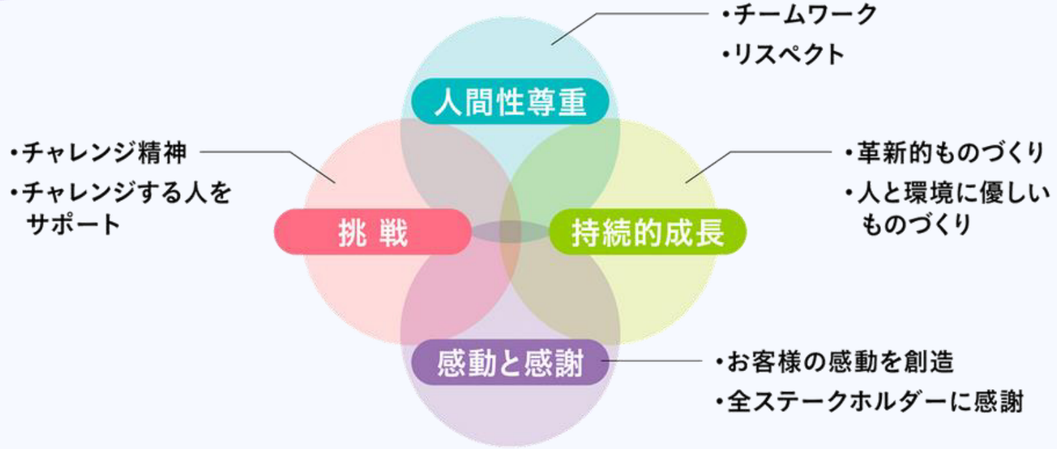
## メタルアートウェイの浸透

ひとづくり・文化づくりの継続

社長が直接、全従業員に対して研修を実施

（組織を跨ぐ横串・少人数制・ディスカッション形式）

### メタルアートウェイ～私たちの大切な想い～



# 原点回帰

## 02 国内既存事業の収益構造改革

| 1年目 | ２年目 | ３年目 | ４年目 |
|---|---|---|---|
| （2020年度） | （2021年度） | （2022年度） | （2023年度） |

デジタル活用による
各職場の業務改革推進
（全員がデジタルツールを学ぶ）

省人化への投資
（FA推進、AI・IoT実装）

費用原単位の低減
（全員参加の競争力向上活動）

**「未来創造センター」「生産技術センター」「業務改革＆DX推進センター」の
３つのセンターを「未来創造・DX推進センター」に統合、取組みを加速！**

# 省人化の取組み①



## 全自動機械加工ライン

・高速搬送ローダーにより初工程から完成工程まで全自動化（2組2直ライン9人省人）
・インライン自動検査装置による品質保証を実現

## 省人化鍛造ライン

・トランスファーとロボットを組み合わせたハイブリットライン（2組２直ライン２人省人）
・AGV活用により工場内搬送を完全自動化

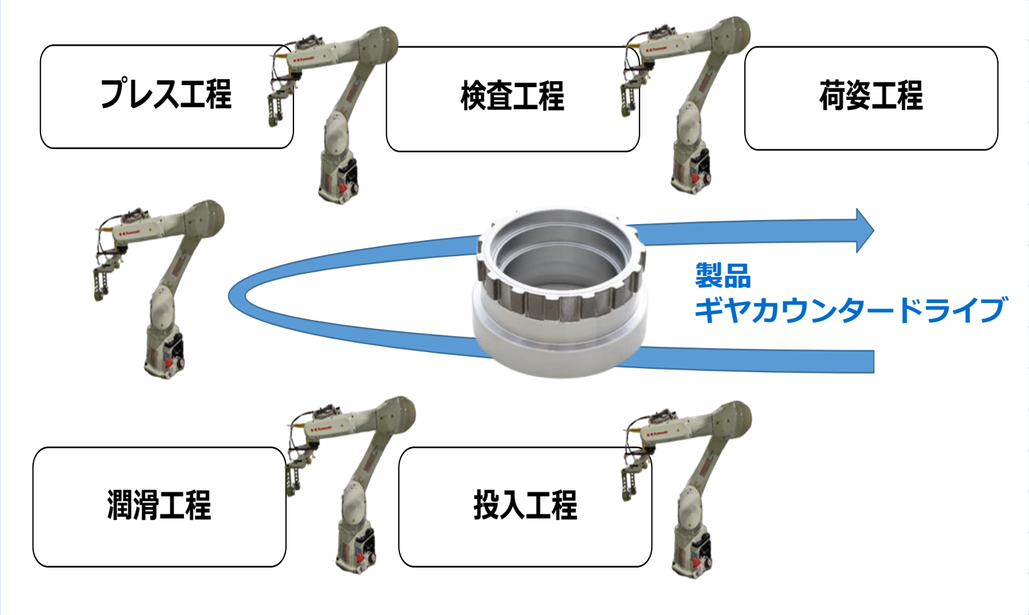
# 省人化の取組み②



## 自動画像検査ライン

・AI画像認識による自動検査装置とロボットを使った検査ライン（5ライン合計４人省人予定）

## 投入から潤滑・検査一貫ライン

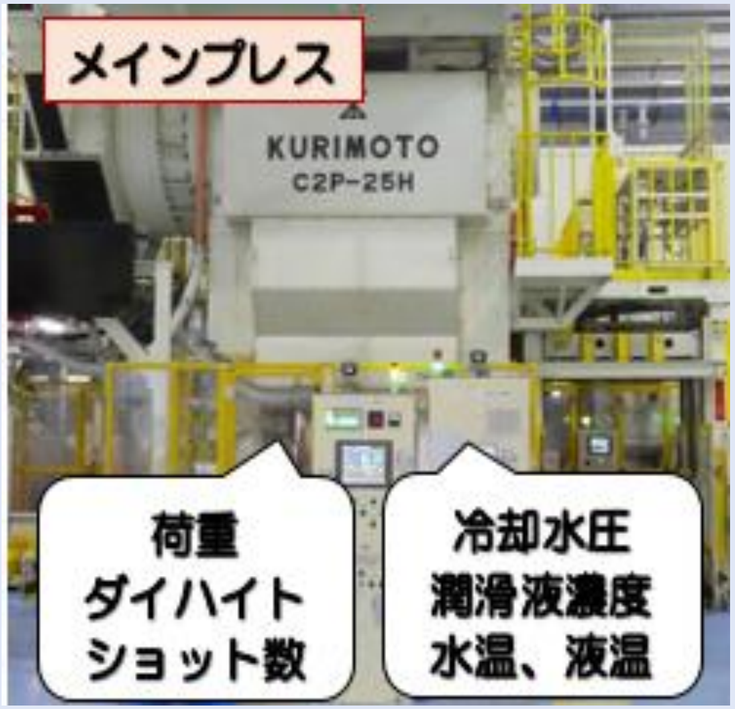


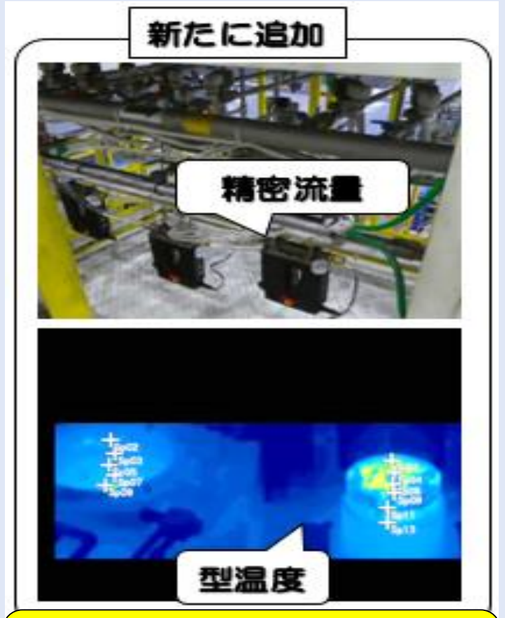

・投入から潤滑・検査の各工程を一貫ライン化することで効率的な生産ラインを構築（23年7月導入 2組２直６人省人予定）

# DXの取組み①



## 滋賀大学との産学連携




【現時点でのデータ数】
ワーク1個ごとデータ　：　200項目
時間単位データ　：　380項目

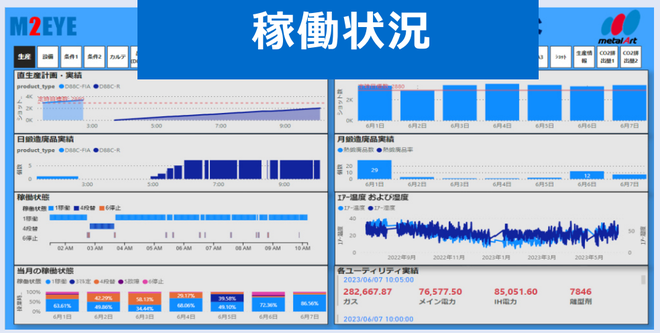
・滋賀大学データサイエンス学部を履修した社員（４人）がAIを活用した改善を牽引

# DXの取組み②



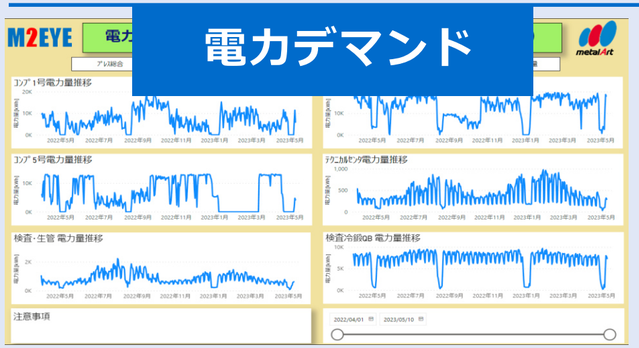
## IoTの活用
## （滋賀大学と連携）

稼働状況

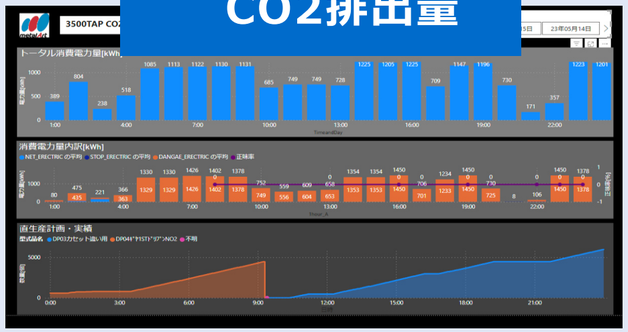



製造条件

電力デマンド




CO2排出量




・IoT活用による稼働状況、製造条件・電力デマンドおよびCO2排出量、設備状態（保全面）等をリアルタイムで監視し、各データの閾値内でのコントロールや異常発生時の迅速な対応に活用

# 原点回帰



03

## 海外事業のさらなる収益拡大

**おかげさまでPT.METALART ASTRA INDONESIAは**

**2023年５月で設立10周年を迎えました**

**【全員参加の競争力向上活動】**

**・費用原単位低減活動の継続**

**【既存事業の新規拡販】**

**・インドネシア自動車市場の構造変化に対応した**

**PT.METALART ASTRA INDONESIA の独自の**

**マーケティング活動強化**

# 原点回帰

04

## BCPの推進

【南海トラフ等の大規模地震への備え】

・人命最優先を基本に大規模地震に対する減災対策等と
早急な生産復旧と地域支援への備えを推進

（地域支援の取組み）

「災害時における井戸水の使用に関する協定書」を
滋賀県草津市と締結

「災害時における一時避難所としての使用に関する協定」を
宮崎県門川町と締結

【サイバー攻撃への備え】

・VPNのセキュリティ強化およびバックアップ構成の見直し実施

# 原点回帰

## コトづくりの推進

【地域貢献】

・毎日16時半～従業員全員で工場内・会社周辺の清掃活動実施

・滋賀県のプロバスケットチーム滋賀レイクスに協賛

⇒高校生100人無料招待イベント開催

・地元自治会イベントへの参加

【地域との共生：環境負荷低減活動】

・常時監視システムでの常時監視および継続的な低減活動推進

# 変革

## 01

### 新たな事業への挑戦

## 02

### 既存事業の新規拡販

## 03

### カーボンニュートラルの推進

## 04

### 地域社会への貢献

# 変革

## 01 モータ事業への参入

世界的な脱炭素の潮流/自動車業界の100年に１度の大変革期

による当社主力のエンジン・トランスミッション部品市場縮小

に備え、2018年３月に未来創造センターを立上げ新事業の創出

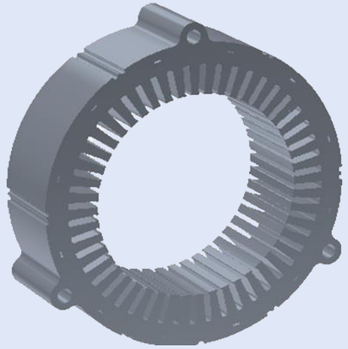
に向けたマーケティングと研究開発を開始

2020年度よりモーター事業にターゲットを絞り開発を推進中

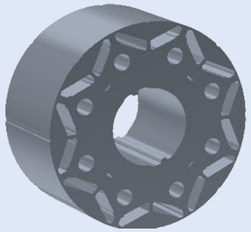
# モータ事業の進捗状況①



## モータコア



ステータコア



ロータコア

**生産方法の概要**

- プレス打抜積層：高精度モータコア
- 積層工法：カシメ or 接着 対応可能
- 製作可能サイズ：外径Φ～230㎜ 積厚～200㎜
- 磁石封止/各種溶接/歪取焼鈍 対応可能

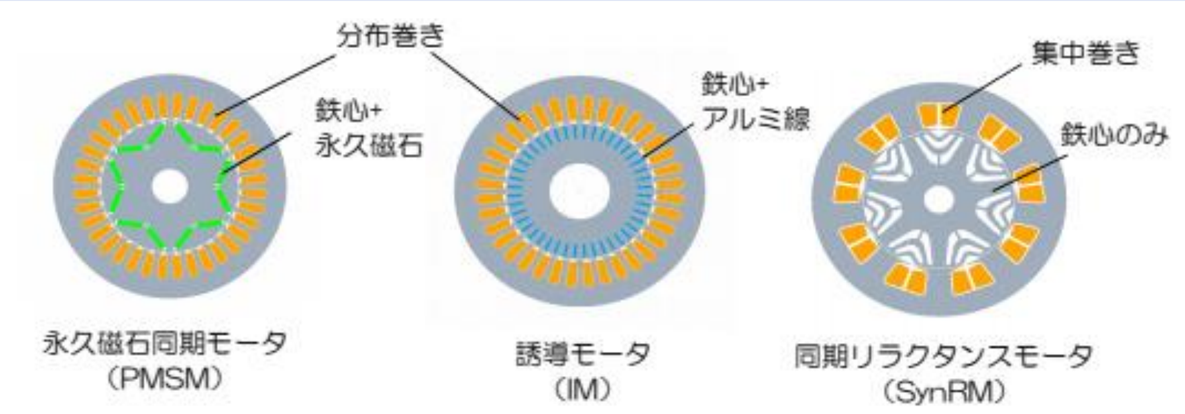
- 滋賀県（水口工場敷地内）に
  モータコア生産に適した制振基礎を有し、
  温度・湿度管理を備えた2,100㎡の専用
  工場を新設（23年10月完成）

# モータ事業の進捗状況②



## 同期リラクタンスモータの開発

**従来モータ**（一般的な自動車用駆動モータ）　**開発モータ**




| | | 永久磁石同期モータ（PMSM） | | 誘導モータ（IM） | | 同期リラクタンスモータ（SynRM） | | SynRMの特徴 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特徴 | ロータ | × | 磁石あり | ○ | 磁石なし | ○ | 磁石なし（コアのみ） | ・磁石使用ゼロ（コスト）<br>・磁石の温度管理なし（性能） |
| | ステータ | × | 分布巻き | × | 分布巻き | ○ | 集中巻き | ・コイル高さ低減（体格）<br>・巻線使用量の低減（コスト） |
| モータ比較（同一トルク基準） | サイズ | 100 | | 150 | | 130 | | |
| | コスト | 100 | | 85 | | 75 | | |

### 開発のポイント

- 永久磁石レスで材料費低減
- 集中巻き採用で銅使用量とモータサイズをMin化
- 独自形状・制御方法で低トルクリップルを実現

| 開発モータの出力特性 | |
|---|---|
| 最大モータ出力 | 5.0kW |
| 最大モータトルク | 50Nm |
| 最大力行回転数 | 4,000rpm |
| 最高回転数 | 12,000rpm |

**e-4WDシステムへの搭載を目指す**

**7月５日～７日「人とくるまのテクノロジー展」に出展予定**

# 変革

## 02　既存事業（鍛造、機械加工）の新規拡販

- 「鍛造から機械加工一貫生産」の経験を活かした最適工法の提案力を強みに自動車以外の分野の新規拡販を強化

【事例】

産業用ロボット部品を「機械加工完成品」で拡販を推進

2022年7月より生産開始

2022年～2025年にかけて、馬場第２工場※を産業用ロボット部品向けに再編

※現状：自動車のトランスミッション部品の機械加工工場

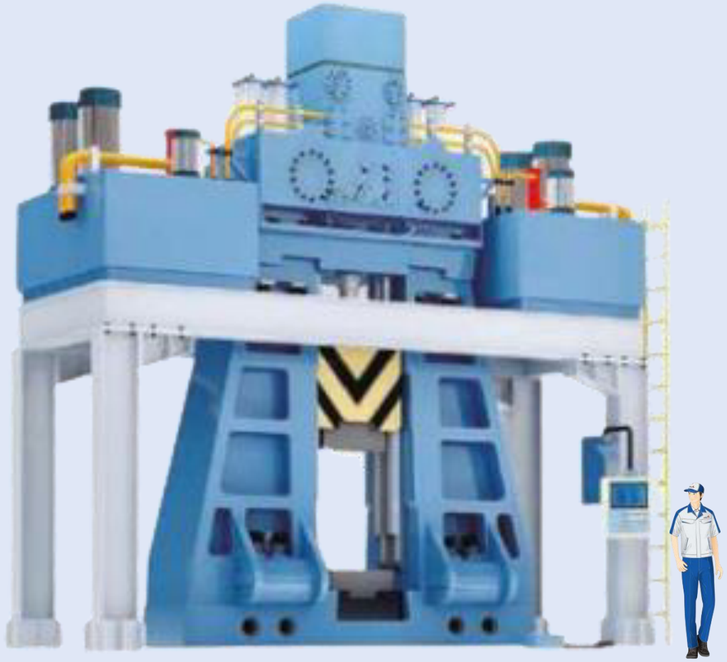
# 既存事業の新規拡販状況



## 軸物用プレス導入

・モータシャフト等の深穴成形品に適合した
スクリュープレスを導入（24年度予定）

## 大物用油圧ハンマー導入



・産業機械および建設機械等でニーズの高い
大物鍛造品に対応するため大型ハンマーを導入
（24年度予定）

# 変革

## 03 カーボンニュートラルの推進

・2022年3月1日に「CN推進センター」を新設
グループ会社を含めた横串活動として
「CN推進プロジェクト」を立上げ取組を開始

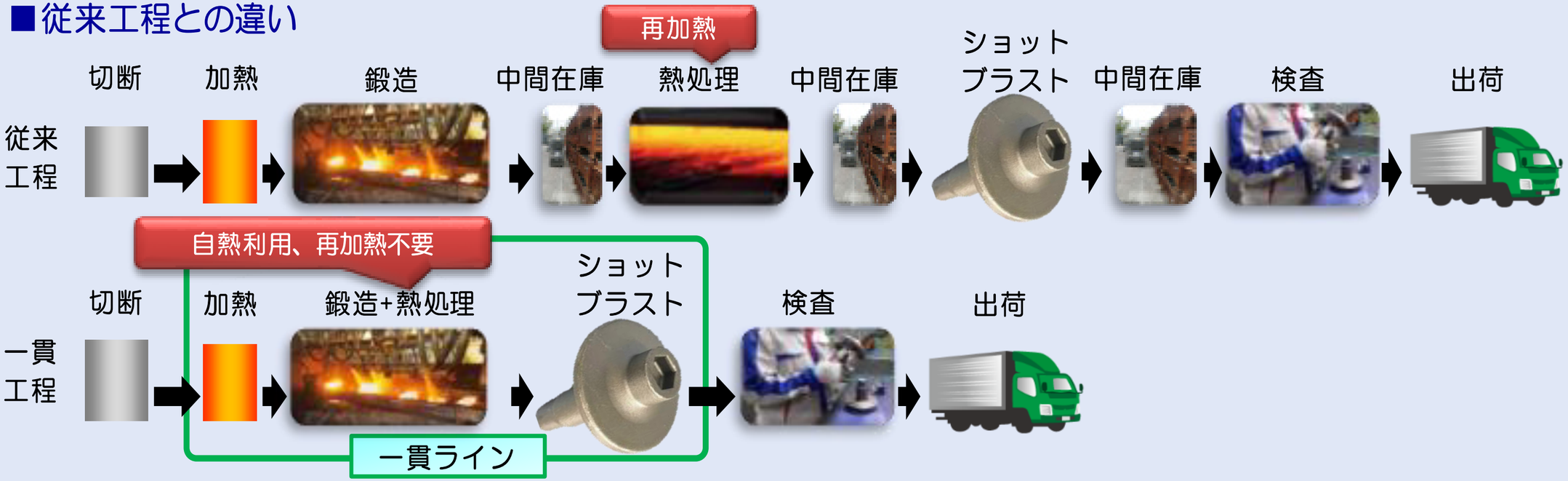
・活動の概要および目標
【概要】
生産プロセスの脱炭素化、排熱利用、
脱炭素電力への置き換え（2022年度より関西電力と契約済）
太陽光パネルの設置による創電
【目標】
2030年　2013年度比△46%、2050年カーボンニュートラル実現

# カーボンニュートラルの進捗状況①



## 一貫生産ラインによるCO2削減

■従来工程との違い




・熱間鍛造後、その素材が持つ自熱を最大限に活用（廃熱利用）し、使用エネルギーおよびCO2排出量を大幅に削減※した鍛造からショットブラストまでの一貫ライン

※低減量123.4 t -CO2/月

# カーボンニュートラルの進捗状況②



## 太陽光パネルによる創電

### 第四工場のパネル（23年5月設置）

・本社工場の２棟（鋼材ヤード23年6月設置、第四工場23年5月設置）

年間発電量：290,117kwh※

太陽光パネル面積：1,210㎡

・水口工場（23年11月設置予定）

年間発電量：184,433kwh※

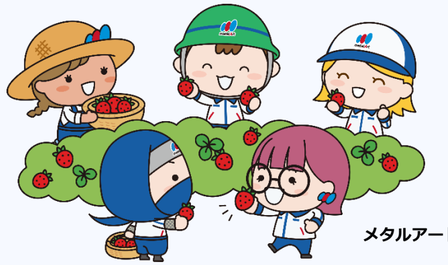
太陽光パネル面積：765㎡

※メーカー試算

# 変革

## 04 農業事業への参入

- 滋賀県草津市への貢献とサステナビリティの課題のひとつである「継続的、安定的な雇用の確保」を目指す
- 当社の培ってきた「ものづくり」の知見を活かせる農業事業への参入を決定
- 地域住民の方に喜んでいただける果物を中心に新たなブランド価値を創造

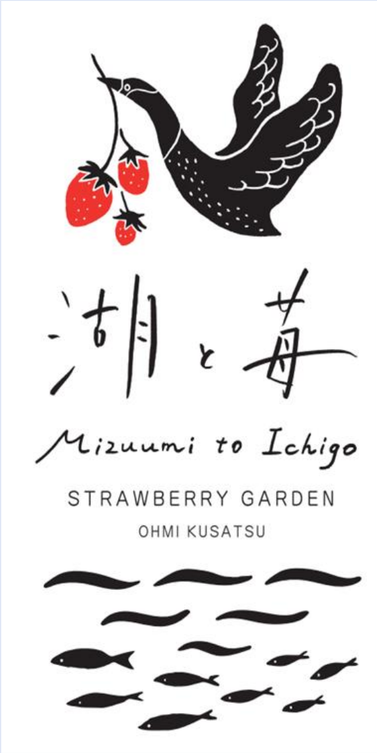


メタルアート公式キャラクター

# 農業事業の進捗状況



## 農園名とロゴデザイン決定




**農園名とロゴに込められた想い**

- 滋賀県の県鳥カイツブリが
  いちごとともに琵琶湖から
  飛び立つロゴで自然および
  地域との共存共栄をイメージ
- 地域活性化のため
  OHMI KUSATSUと明記し
  地元草津市のいちご農園と
  イメージしやすく工夫

## 育苗開始

- 試験的に滋賀県のブランドいちご「みおしずく」
  も含めた7品種のいちごを育苗開始
- 従業員とそのご家族を招いて、食育を兼ねて
  いちご及びさつま芋の苗植え体験を実施

# 企業価値向上に向けた課題と取組み

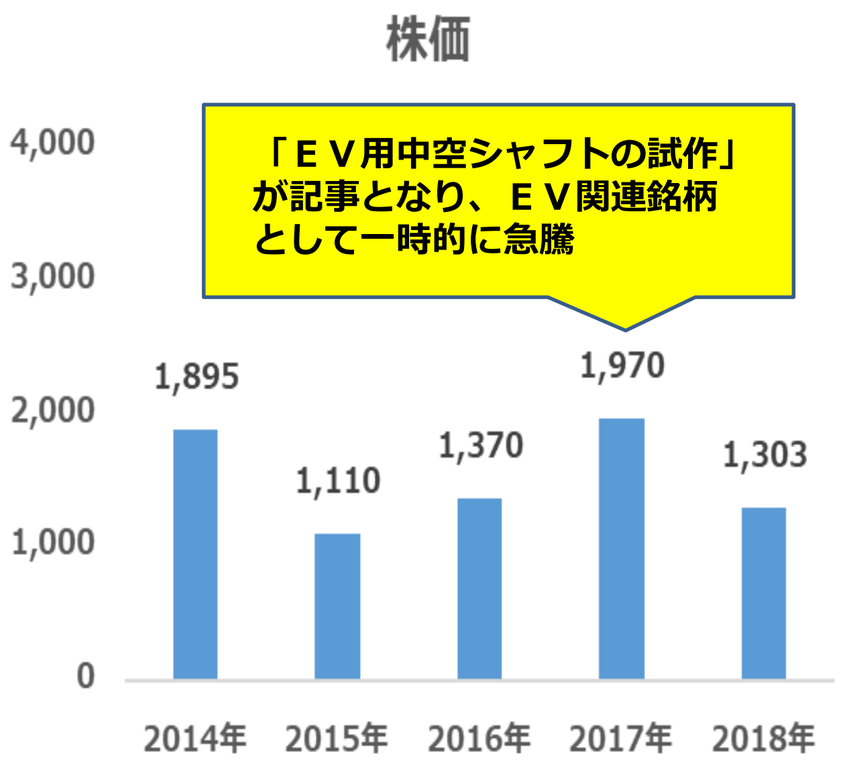
1｜考察（2019年当時）
2｜取組みに必要な資金捻出のための全員参加の協力体制について
3｜取組み開始後の売上高と従業員数の推移
4｜連結財務情報（2018年～2022年）
5｜考察（2023年現在）
6｜2021年～2025年の開発・投資計画
7｜株主還元・IR活動の強化について

(注1)2018年に５株→１株併合、表示単位を現状に合わせています。
(注2)金額は、表示単位未満を切捨てて表示しています。

# 考察（2019年当時）



## 企業価値向上に向けた課題について




**株式市場からのご評価＝課題（優先順位が高い順に記載）**

- 事業構造が持続可能ではない（エンジン車中心の事業構造）
- 開発力が弱い：業界初の精密複合鍛造技術を最後に30年以上、新たな技術開発が殆どなく、新規性に乏しい
- 経営は安定しているが収益力が不十分
- 安定配当のみ、株主還元が十分ではなく、IR活動も不十分

**内部的な課題**

- 縦割り、他責思考、挑戦が弱い＝企業文化が良くない
- 工場が汚く、安全安心な職場ではない
- 結果、新規採用に苦戦

# 取組みに必要な資金捻出のための全員参加の協力体制について



## 組織体制・人員体制のスリム化

①常勤役員体制のスリム化（５人→3人）
　同時に会長、副社長の廃止
②組織のスリム化・・・縦割りの弊害を無くす
　→全体最適・全部門参加型の推進体制へ
　　結果、部長・室長ポストのスリム化
③製造間接のスリム化
　係長廃止、組織のスリム化に合わせた
　職長ポストのスリム化

## 費用低減の取組み

④新規拡販やお客様の増産による売上増加に対し
　設備投資を抑制し、操業対応で固定費低減
　（※３組２直操業に労働組合が協力）
　　⇒土日も昼夜で操業し、資金を捻出
⑤統制可能費用の原単位の抜本的改善
　（鍛造事業：約30%、加工事業：約10%改善）
⑥役員賞与の特別管理
　　事業構造改革推進時は特別管理（抑制）を実施

★④は持続可能ではなく、事業構造変革の
　資金需要が大きい期間に限定した操業体制

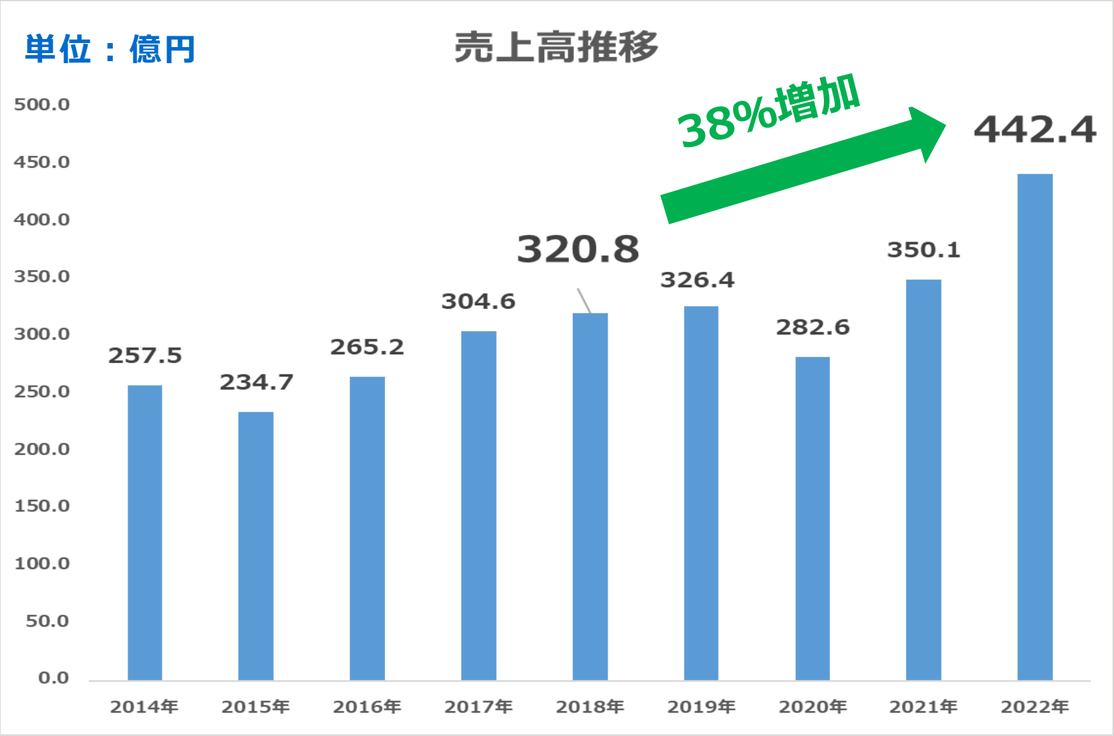
※３班体制による土日含む昼夜操業

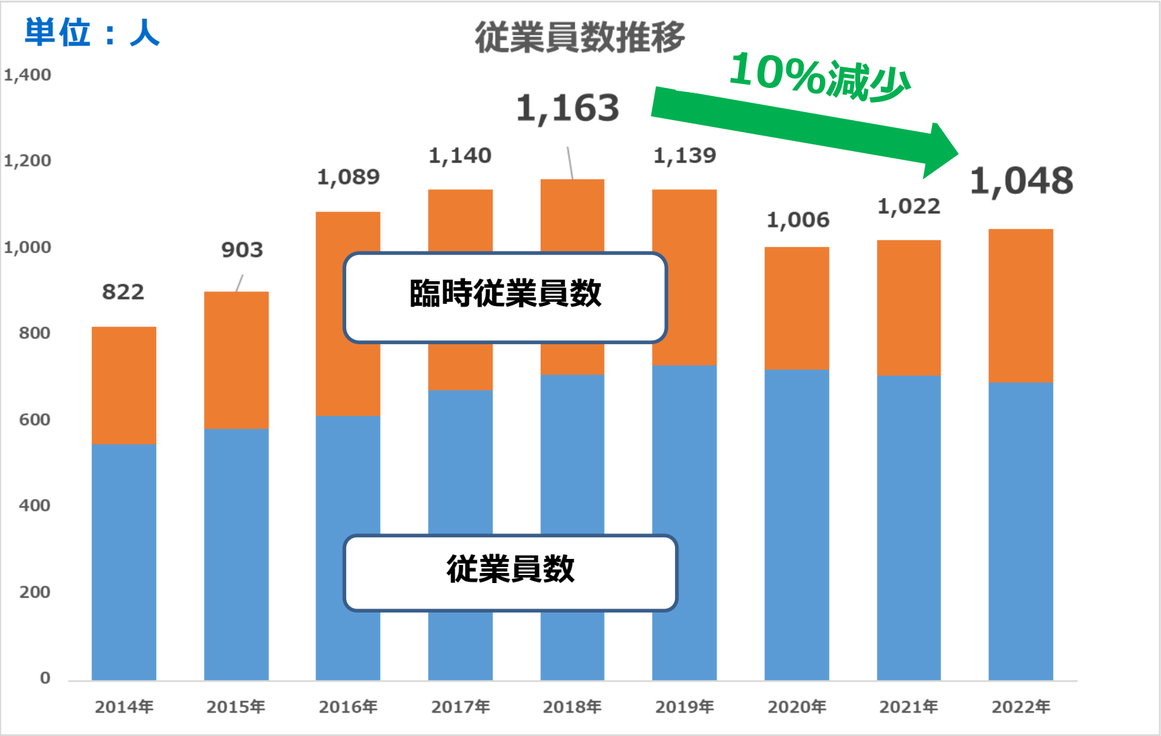
# 取組み開始後の売上高と従業員数の推移



## 売上高と従業員数の推移

・拡販強化で売上は38%増、FA・製造間接スリム化・３組２直操業対応等により従業員数は10%減少



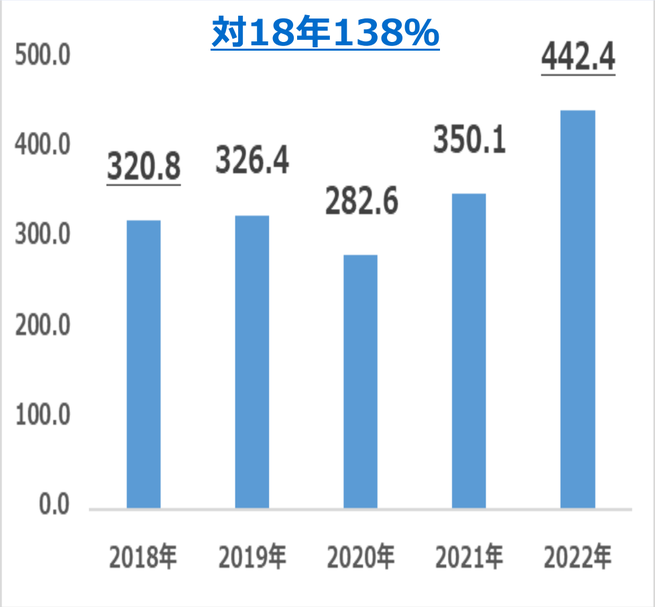



# 連結財務情報
## （2018年～2022年）



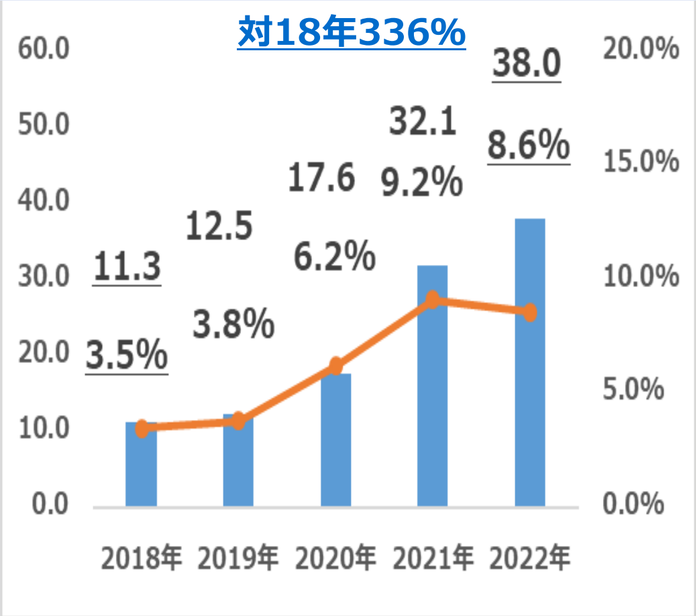
### 売上高

単位：億円



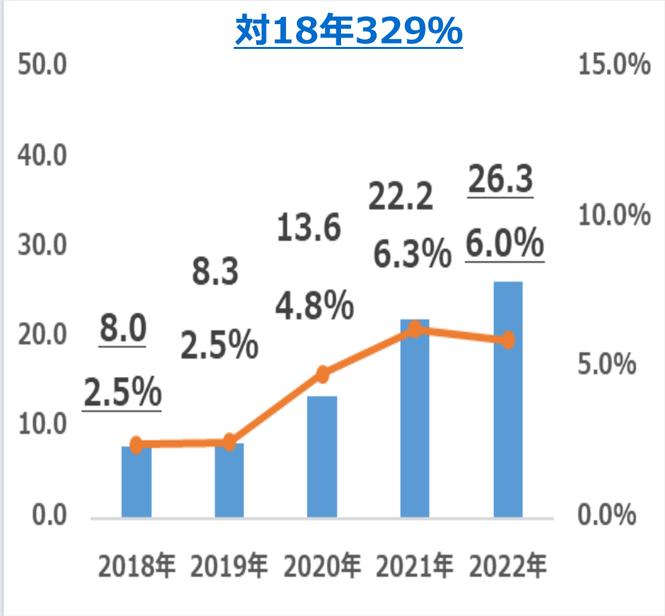

### 営業利益/率

単位：億円




### 純利益/率

単位：億円

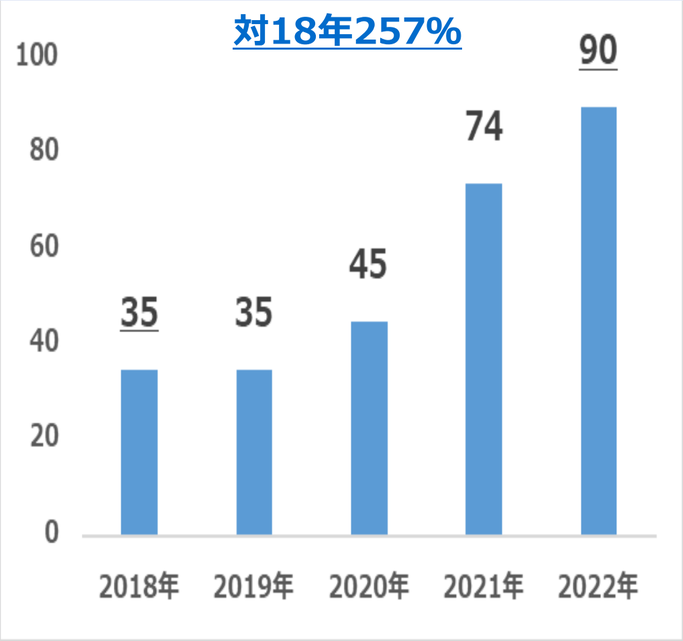



**新規拡販強化により売上増加。収益構造改革の取組み、**
**変革に必要な資金捻出の協力体制により利益が増加。**
**（開発・投資加速による影響は未だ小さい段階）**

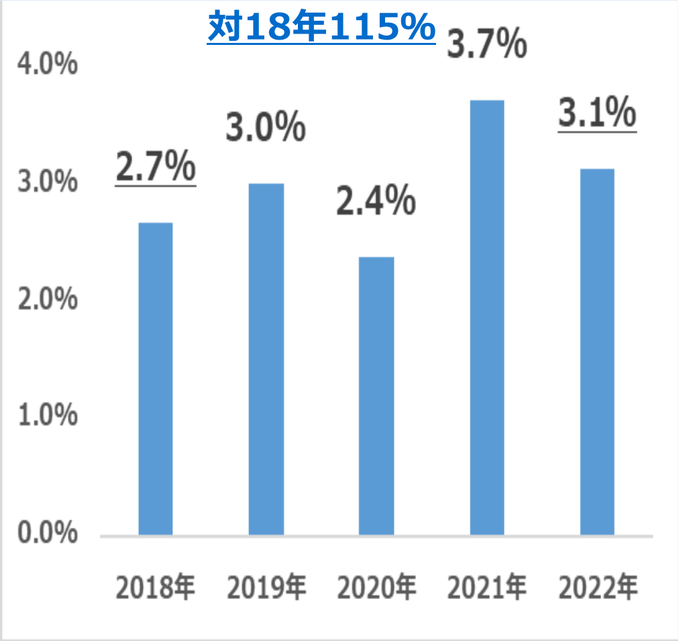
# 連結財務情報
## （2018年～2022年）



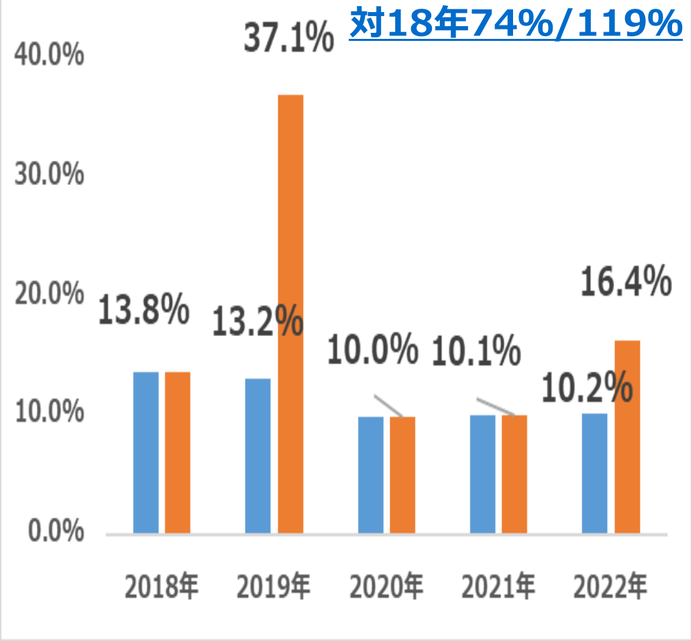
### １株あたり配当額




### 配当利回り




### 配当性向/総還元性向



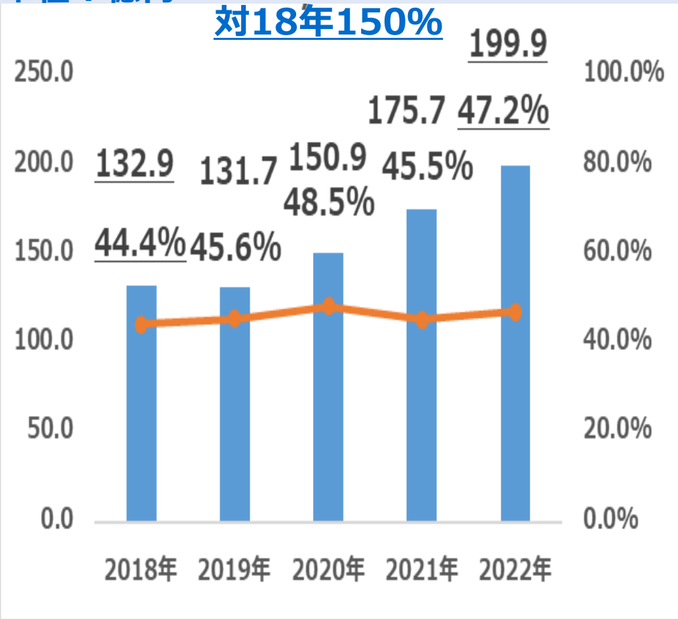

**１株あたり配当額を増額、自社株買いも実施しましたが、事業構造の変革を最優先に進めているため、配当性向/総還元性向は未だ十分な水準ではない**

# 連結財務情報
## （2018年～2022年）



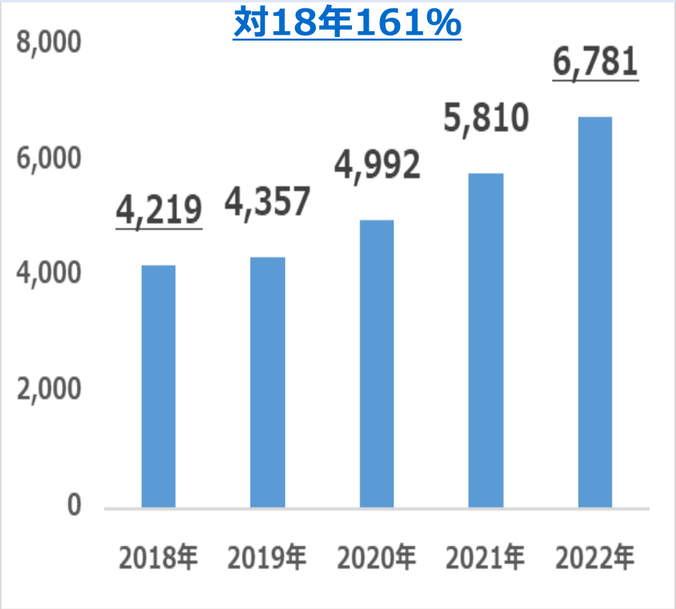
### 株主資本/自己資本比率

単位：億円



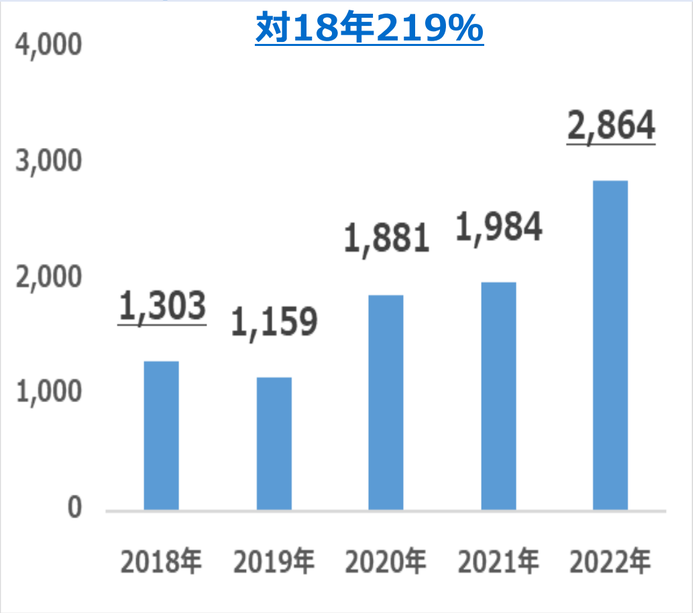

### 1株あたり純資産

単位：円/株




### 株価

単位：円/株

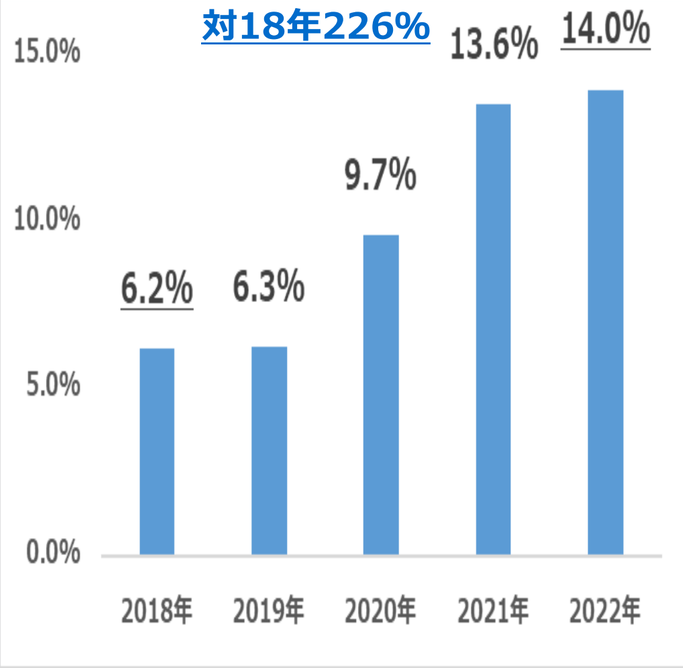



**収益増加により株主資本・純資産が増加したため、**
**株価は2018年比で219%に上昇したが未だ割安水準**

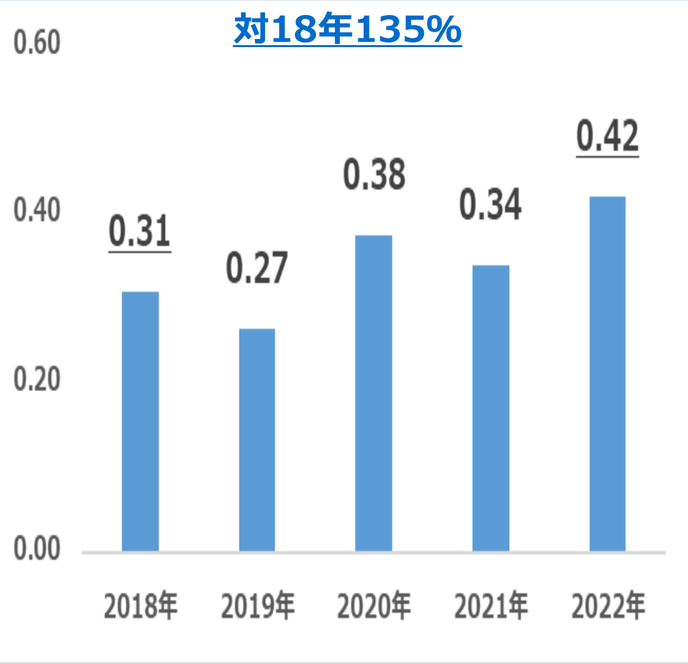
# 連結財務情報
## （2018年～2022年）



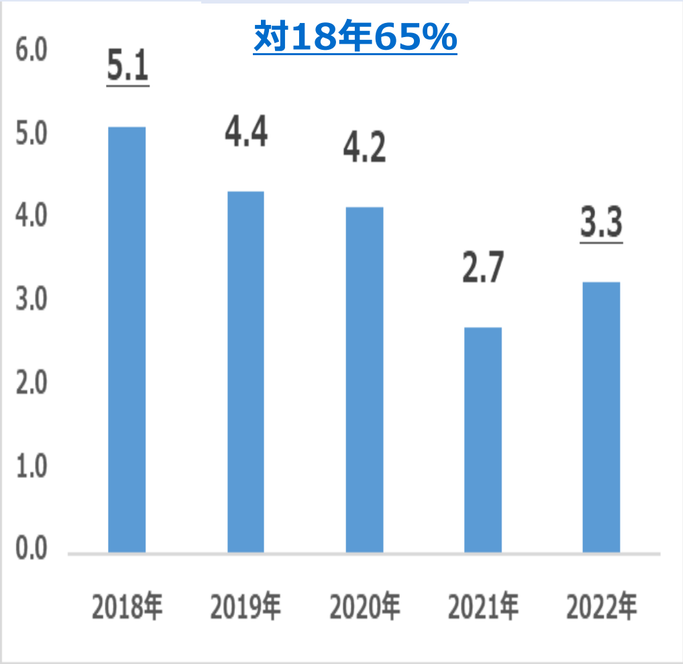
### ROE




### PBR




### PER

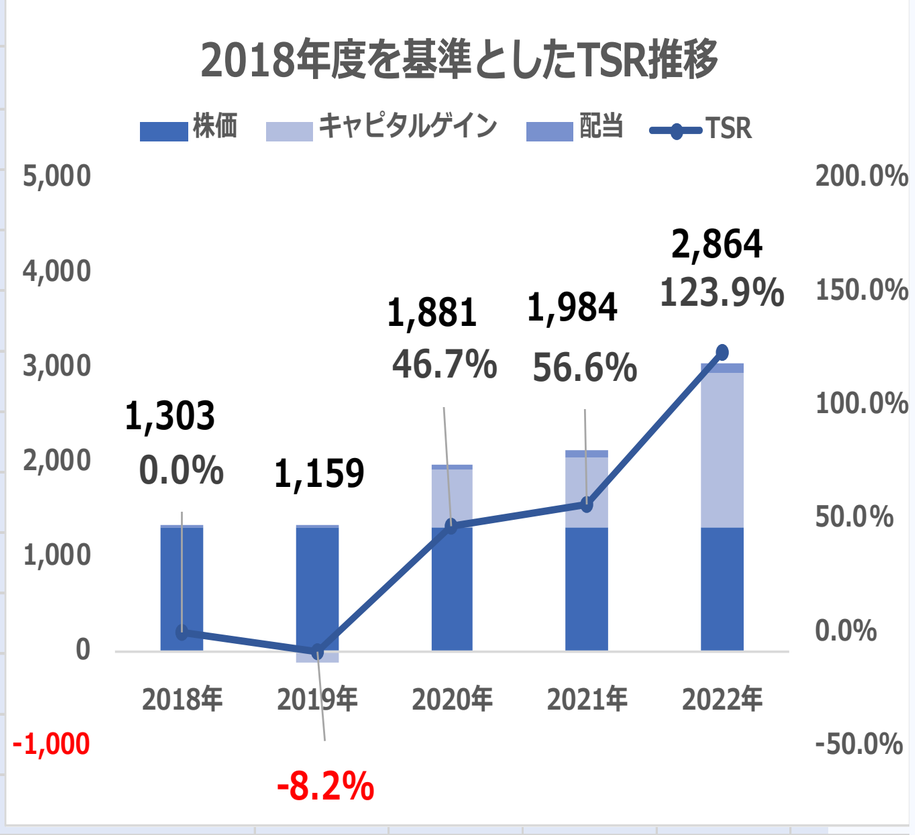



**収益増加により、ROEは良化しているもののPBRは0.42、PERは3.3にとどまっている**

# 考察（2023年現在）



## 企業価値向上の取組みに対する2023年時点の考察




**株式市場からの評価（優先順位が高い順に記載）**

- 事業の持続可能な構造への変革は未だこれから
- 開発力も事業構造変革の一要素であり、未だ評価できない
- 収益力は大幅に改善された
- 株主還元は、変革に伴う資金を考慮した水準のため、市場からは不十分と評価、IR活動も変われていない

**内部的な課題**

- メタルアートウェイが徐々に浸透し、チームワーク・一体感があり、全員参加で挑戦を続ける企業文化に変わりつつある
- 工場が少しずつだがきれいになってきた

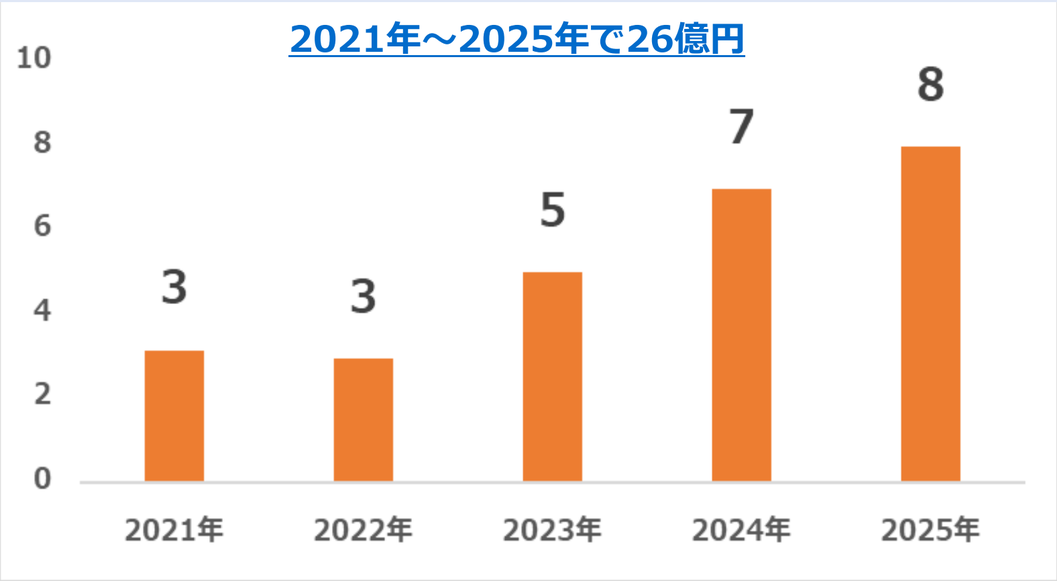
**新事業実現に懐疑的、株主の皆様/株式市場のご評価は現時点も低い**

# 2021年～2025年の開発・投資計画



## 研究開発費計画

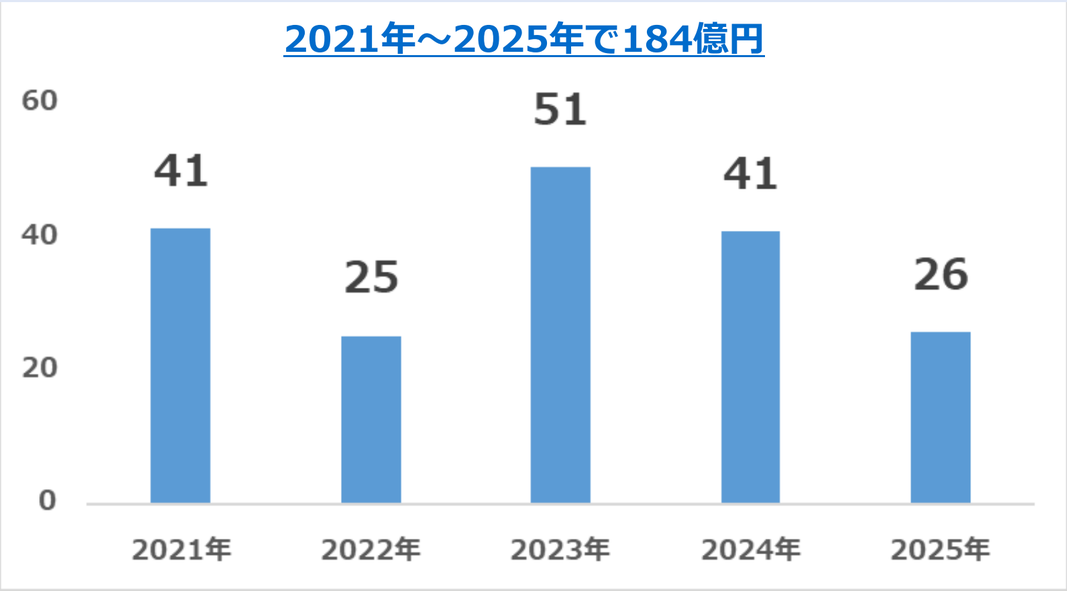
単位：億円




・研究開発費の投資を加速

## 設備投資計画

単位：億円




・リスクを取り、先行投資を継続

**5年間で研究開発・設備投資で約210億円投資**
**2026年以降もリデザイニングに伴う挑戦は続く**

# 株主還元・IR活動の充実について



・長期的な事業構造変革の過程では、開発・投資が重なり、「開発費・減価償却費・新規受注に伴う生産準備費用」の負担が重くなり、期間収益が悪化する時期も予想されます。このような期間だからこそ、この事業構造変革の挑戦を応援いただいている株主の皆様に「中長期的な安定配当の維持・継続」が出来る水準を慎重に検討しております。

・株主還元の方針が「中長期的な安定配当の維持・継続」では不明確であるため、配当性向の目標値設定等の方針見直しの検討を進め、今年度中に公表致します。

・IR活動については、株主の皆様や株式市場のご期待に応えられるよう充実させてまいります（メディアを通じた発信強化、決算説明資料公表等）

# 第92期（2023年3月期）連結計算書類

(注)金額は、表示単位未満を切捨てて表示しています。

# 連結貸借対照表（要旨）



（2023年３月31日現在）　　（億円）

| 科目 | 金額 | 対前年増減額 | 科目 | 金額 | 対前年増減額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流動資産 | 258.3 | 28.2 | 流動負債 | 174.2 | △ 7.4 |
| 有形固定資産 | 156.3 | 8.3 | 固定負債 | 25.6 | 16.9 |
| 無形固定資産 | 0.3 | 0.0 | 負債　計 | 199.9 | 9.4 |
| 投資有価証券 | 1.8 | 0.1 | 株主資本 | 193.1 | 22.4 |
| その他 | 6.3 | 0.1 | その他包括利益累計額 | 6.7 | 1.7 |
| 投資その他の資産 | 8.1 | 0.2 | 非支配株主持分 | 23.4 | 3.2 |
| 固定資産 | 164.8 | 8.6 | 純資産計 | 223.3 | 27.4 |
| 資産　合計 | 423.2 | 36.8 | 負債・純資産　合計 | 423.2 | 36.8 |

**【1株当たりの当期純資産　6,780円93銭】**

# 連結損益計算書（要旨）



| 項目 | 金額 | 対前期増減率 |
|---|---|---|
| 売上高 | 442億3千8百万円 | 26.4% |
| 営業利益 | 38億４百万円 | 18.7% |
| 経常利益 | ３８億6千６百万円 | 16.9% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 26億３千２百万円 | 18.8% |

**【1株当たりの当期純利益　　879円91銭】**

# 議案の説明

決議事項

＜会社提案＞

第1号議案　剰余金処分の件

第2号議案　取締役５名選任の件

第3号議案　監査役１名選任の件

第4号議案　補欠監査役１名選任の件

＜株主提案＞

第5号議案　剰余金処分の件

# 第１号議案

## 剰余金処分の件

※招集ご通知3頁をご覧ください

期末配当に関する事項

（１）当社普通株式１株につき　　60円
総額　176,847,360円

（２）効力発生日　2023年6月28日

（参考）年間配当の内訳

| 基準日 | 第2四半期末 | 期末 | 年間 |
|---|---|---|---|
| 2022年3月期 | 30円00銭 | 44円00銭 | 74円00銭 |
| 2023年3月期 | 30円00銭 | 60円00銭 | 90円00銭 |

※（総株式数3,157,382株-自己株式数209,926）*60円/株=176,847,360円

# 第2号議案

## 取締役５名選任の件

### 取締役候補者

※招集ご通知４頁から６頁をご覧ください

**友岡正明**

[地位および担当]
代表取締役社長

[候補者属性]
再任

**武田正臣**

[地位および担当]
常務取締役

[候補者属性]
再任

**福本照久**

[地位および担当]
取締役
株式会社メタルフォージ
代表取締役社長

[候補者属性]
再任

**竹林満浩**

[地位および担当]
取締役
（公認会計士）

[候補者属性]
再任
社外
独立

**藤井正大**

[地位および担当]
取締役
（弁護士）

[候補者属性]
再任
社外
独立

# 第3号議案

## 監査役１名選任の件

## 監査役候補者

※招集ご通知７頁をご覧ください

**中川仁志**

| [地位および担当] | [候補者属性] |
| --- | --- |
| ダイハツ工業<br>コーポレート統括本部長 | 新任 |

# 第4号議案

## 補欠監査役１名選任の件

### 補欠監査役候補者

※招集ご通知８頁をご覧ください

**有村隆**

| [地位および担当] | [候補者属性] |
| --- | --- |
| 弁護士 | 新任 |

# 第5号議案

## 剰余金処分の件（株主提案）

※招集ご通知9頁から１０頁をご覧ください

期末配当に関する事項

（１）当社普通株式１株につき　　100円
総額　294,745,600円

（２）効力発生日　2023年6月28日

（参考）年間配当の内訳

| 基準日 | 第2四半期末 | 期末 | 年間 |
|---|---|---|---|
| 2022年3月期 | 30円00銭 | 44円00銭 | 74円00銭 |
| 2023年3月期 | 30円00銭 | 100円00銭 | 130円00銭 |

※（総株式数3,157,382株-自己株式数209,926）＊100円/株＝294,745,600円

# 質疑応答

# 議案決議

# 第１号議案

## 剰余金処分の件

※招集ご通知3頁をご覧ください

期末配当に関する事項

（１）当社普通株式１株につき　　60円
総額　176,847,360円

（２）効力発生日　2023年6月28日

（参考）年間配当の内訳

| 基準日 | 第2四半期末 | 期末 | 年間 |
|---|---|---|---|
| 2022年3月期 | 30円00銭 | 44円00銭 | 74円00銭 |
| 2023年3月期 | 30円00銭 | 60円00銭 | 90円00銭 |

※（総株式数3,157,382株-自己株式数209,926）*60円/株=176,847,360円

# 第5号議案

## 剰余金処分の件（株主提案）

※招集ご通知9頁から１０頁をご覧ください

期末配当に関する事項

（１）当社普通株式１株につき　　100円
総額　294,745,600円

（２）効力発生日　2023年6月28日

（参考）年間配当の内訳

| 基準日 | 第2四半期末 | 期末 | 年間 |
|---|---|---|---|
| 2022年3月期 | 30円00銭 | 44円00銭 | 74円00銭 |
| 2023年3月期 | 30円00銭 | 100円00銭 | 130円00銭 |

※（総株式数3,157,382株-自己株式数209,926）＊100円/株＝294,745,600円

# 第2号議案

## 取締役５名選任の件

### 取締役候補者

※招集ご通知４頁から６頁をご覧ください

**友岡正明**

[地位および担当]
代表取締役社長

[候補者属性]
再任

**武田正臣**

[地位および担当]
常務取締役

[候補者属性]
再任

**福本照久**

[地位および担当]
取締役
株式会社メタルフォージ
代表取締役社長

[候補者属性]
再任

**竹林満浩**

[地位および担当]
取締役
（公認会計士）

[候補者属性]
再任
社外
独立

**藤井正大**

[地位および担当]
取締役
（弁護士）

[候補者属性]
再任
社外
独立

# 第3号議案

## 監査役１名選任の件

## 監査役候補者

※招集ご通知７頁をご覧ください

**中川仁志**

| [地位および担当] | [候補者属性] |
| --- | --- |
| ダイハツ工業<br>コーポレート統括本部長 | 新任 |

# 第4号議案

## 補欠監査役１名選任の件

### 補欠監査役候補者

※招集ご通知８頁をご覧ください

**有村隆**

| [地位および担当] | [候補者属性] |
| --- | --- |
| 弁護士 | 新任 |

# 第１号議案並びに第５号議案の採決結果報告

# 閉会

本日はご出席、誠にありがとうございました

metalArt

第92期　定時株主総会

## 会社概要

| | |
|---|---|
| 会社名 | 株式会社メタルアート |
| 代表取締役社長 | 友岡 正明 |
| 資本金 | 21億4,348万円 |
| 設立年月日 | 1943年8月6日 |
| 従業員数 | 1,048名（2023年4月時点） |

## 役員（2023年6月現在）

| | |
|---|---|
| 代表取締役社長 | 友岡 正明 |
| 常務取締役 | 武田 正臣 |
| 取締役 | 福本 照久 |
| 取締役（非常勤） | 竹林 満浩 / 藤井 正大 |
| 監査役 | 溝井 辰雄 |
| 監査役（非常勤） | 中川 仁志 / 笛田 薫 |

株式会社メタルアート

〒525−0059　滋賀県草津市野路３丁目２番１８号

077-563-2111　contact@metalart.co.jp

https://www.metalart.co.jp